

日本比較薬理学・毒性学会拡大評議員会 議事録 (案)

日時：平成 18 年 3 月 21 日 第 141 回日本獣医学会学術集会

場所：つくば国際会議場(つくば市)

議長：中條真二郎(日本獣医畜産大学)

出席者：伊藤茂男、太田利男、藤田正一、坂本健太郎(北海道大学)、種池哲朗、北澤多喜雄(酪農学園大学)、石井利明、室井喜景(帯広畜産大学)、小林晴男(岩手大学)、天間恭介、原 幸男、白石光也、打出 毅(北里大学)、尾崎 博、堀 正敏、村田幸久(東京大学)、赤堀文昭、白井明志、折戸謙介、(麻布大学)、清水一政、金田剛治(日本獣医畜産大学)、小森成一、海野年弘(岐阜大学)、松尾三郎、清宮健一、中川博史、竹内正吉、東 泰孝、中嶋秀満(大阪府立大学)、那須哲之、佐藤晃一(山口大学)、佐藤 宏(鳥取大学)、伊藤勝昭、池田正浩(宮崎大学)、宮本 篤(鹿児島大学)(順不同、敬称略)

1) 新任の先生の紹介

藤田先生(北大・毒性)より、坂本健太郎先生(助手)の紹介が、また尾崎先生(東大・獣医薬理)より村田幸久先生(助手)の紹介があった。

2) 国公立大学獣医学協議会報告

今回は本評議員会が国公立大学獣医学協議会より先に実施されたため、尾崎先生(東大)より、協議予定の議題について紹介があった。

家畜病院予算の問題

国立大学の統合計画白紙化後の各大学の自助努力について

各大学の自己評価

3) 私立獣医科大学協議会報告

国公立大学獣医学協議会同様、今回は本評議員会が先に実施されたため、種池先生(酪農大)より第 4 次相互評価委員会が成立する予定の旨の報告があった。

4) シンポジウム

尾崎先生(東大)より、春期の学会におけるシンポジウム企画が他の基礎系部会より少ないので、今後は企画を 2 つ立ち上げたい旨の提案がなされた。

また、評議員会と若手勉強会は個別に開催すること、今後シンポジウムは主催校が幹事をする事、秋期の一般演題のプログラム編成は薬理と毒性を分けずに、編成すべきである等の提案がなされた。

5) 実習書改定について

尾崎先生(東大)より、現在使用している実習書については作成から 10 年以上経過し、動物愛護法等を鑑みると改定が必要であること、また以前の実習書作成の経緯から竹内先生(府大)を中心に、改定作業をお願いすることの提案があり、承認された。

6) 会計報告

堀先生(東大)より、資料に基づいて会計報告があり承認された。また、平成 17 年度より、10%の源泉徴収額を計上して報酬(謝金)を支払い、獣医学事務局より納税するとの報告があった。

7) 第 142 回日本獣医学会学術集会

次期会長の那須先生(山口大)より第 142 回日本獣医学会学術集会は 9 月 22 - 24 日 山口大学吉田キャンパスにて開催し、薬理・毒性の分科会は 22 日に、拡大評議員会は 23 日に予定されているとの報告があった。

8) その他

尾崎先生(東大)より、春の拡大評議員会の運営について大学以外の研究機関が学術集会を主催する場合は、東大 日獣大 麻布大 日大 農工大の順のローテーションで、幹事を行うことが承認され、第 143 日本獣医学会学術集会(主催:動物衛生研究所)では麻布大学が幹事を行うことが確認された。